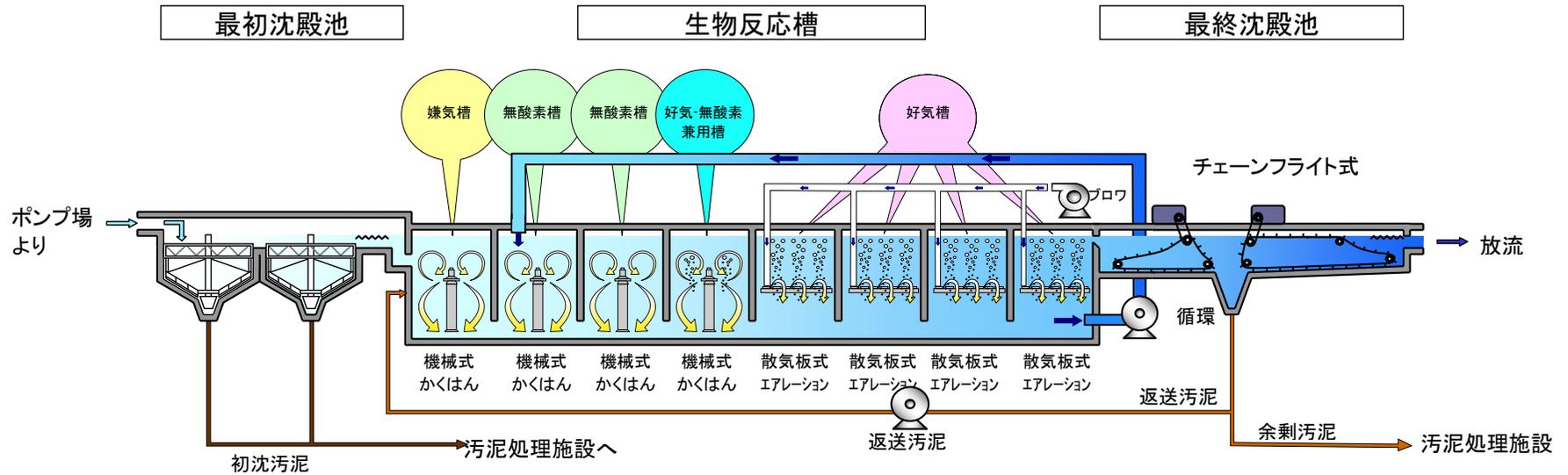
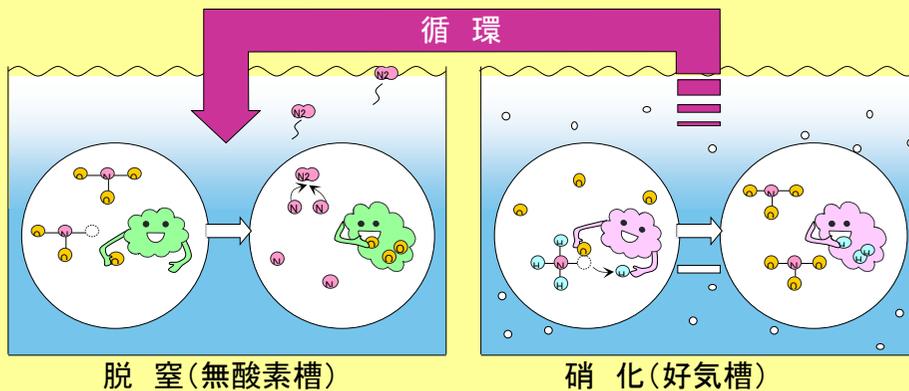


原田処理場 A～D列水処理施設（嫌気－無酸素－好気法）

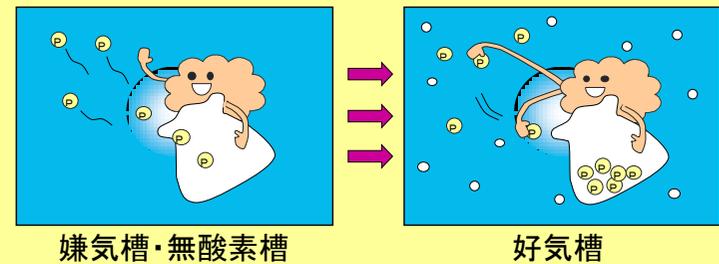


窒素の除去



下水中のアンモニア態窒素は、好気槽（空気が多い状態）に入ると、微生物の働きによって硝酸態窒素になります。（これを硝化といいます。）続いて循環ポンプを使い、この物質を無酸素槽（空気の少ない状態）に送ると、微生物の働きによって分解され、窒素ガスとして大気に放出されます。（これを脱窒といいます）このようにして下水中の窒素を取り除きます。

リンの除去



微生物を酸素の少ない状態にしておくと、リンを放出し、続いて空気の多い状態にすると、放出した以上のリンを取り込む現象が起こります。この微生物を系外に出してやることにより、下水中のリンを取り除きます。